

7月に入った途端に“まさに梅雨！”というようなお天気が続いていますが先週末は この印旛地区でも 警戒レベル4の警報や避難指示が発令される程の雨量に驚かされました。皆さんも 不安な想いで過ごされていたことと思います。熱海市で起こった 土石流災害のニュースには 思わず目を覆ってしまいました。コロナ禍の大変な中で被災し避難されている方々に心よりお見舞申し上げます。突然の恐怖は いかばかりかと 胸が痛みます。今も 救出活動が続いていますが、作業をされる方も守られ、すべての方が助け出されますよう 切にお祈りします。

さて 毎月最終土曜日は 全職員での園内研修を行っていますが、先月もまた、皆様のご理解とご協力を頂きまして、朝から 様々な話し合いや学び合いが出来、大変充実した1日となりました。改めまして、いつも ありがとうございます。毎回のプログラムは まず 全園児・全クラスの様子を伝え合い 分かち合います。それを踏まえた上で、各自の希望で提案された課題について皆で話し合ったり 参考文献を基に、多くの示唆を与えられながら 自身の保育を見つめ直します。普段は慌ただしく日々の保育を無我夢中で行っている私達ですので、毎月1回 全員が顔を合わせて、じっくりと言葉や想いを交わし合うことが出来る機会は とても貴重で有意義です。子ども達ひとりひとりの今現在の姿に対する理解や 成長発達、それぞれが持つ個性についての 認識の統一を図るために重要であり 自らの保育を振り返り、方向性の軌道修正や 新たな意識へのきっかけづくりや また、悩みや疑問や不安を打ち明けたり相談したりという互いの心を支える場としても、大変実りのある 大切な時間となっております、本当に感謝しています。

保育も育児と同様で、日々迷い悩み「これでいいのだろうか」と自問自答の繰り返しです。こうして時々 立ち止まり、仲間に頼り 言葉を掛け合うことで ほんと安心したり 力を与えられたりしながら、自分を肯定し、また前を向いて 歩き出すことが出来るのです。毎月の職員研修会での 先生達の様子を見ながら 「人が人を育てる」ことは ひとりでは決して出来ないをつくづく思われます。これからも 日々の保育に活かしながら、子ども達と共に 成長し合えるために それぞれが良き学び合いの場として臨めるよう 祈り合い努めていきたいです。

今回、その研修の中で DVD を全保育者で観賞しました。今年 話題となった 『劇場版・鬼滅の刃—無限列車編—』です。映画館へ行けなかったこともあり 保育園の大きなスクリーンで 先生達皆で 一緒に観て、率直な感想を言い合い “果たしてこの物語は子どもにとってどうなのか”を考え合うことにしました。内容を全く知らずに初めて観る人も 既にリピーターの人もいて 様々でしたが ラストに近づく頃、あちこちから すずり泣く声や涙を押さえる姿がありました。お母さんが わが子へ遺した 人としての温かな言葉を聞いた時はピークでした。映画版にはアニメ版ほどの残酷さは そう感じられませんでした。全員の感想は 「子どもより大人の心に沁みる」「キャラクターは楽しめるが 内容やテーマが 特に 小さい子ども達には 難し過ぎて おそらく理解ができないと思う」でした。DVDは 自由に貸出をしています。どうぞ いつでも 各担任へお声かけ下さい。お子さんと一緒にではなく 大人だけで 一度先に ご覧頂くことをお勧めします。

まだまだコロナ禍の不安な毎日ですが、皆様に 神様の平安がありますように。 「主よ。あなたの恵みによって私を生かしてください。(詩篇119:159)」(石田 記)